

管内の救急事例において、現場に居合わせた方（バイスタンダー）の活躍により、尊い命が救われた実例があり、その際に活躍された方の多くが応急手当講習会を受けた経験をお持ちでした。



事例1

職場で作業中に急に倒れて心肺停止となった男性に、複数の同僚により、119番通報、胸骨圧迫、人工呼吸、職場のAEDによる除細動が複数回行われました。男性は、救急隊が到着した時点で、呼吸および脈拍が回復していました。

事例2

職場で心肺停止となった男性を同僚が発見しました。同僚が119番通報、胸骨圧迫及び職場のAEDによる除細動を1回実施して救急隊に引き継ぎました。男性は病院到着までに脈拍が回復しました。

事例3

公民館で会議中に意識を失い心肺停止となった男性に、会議出席者と公民館職員が119番通報、胸骨圧迫、備え付けのAED搬送から除細動を実施し救急隊に引き継ぎました。男性は、病院到着までに脈拍が回復しました。

事例4

屋内運動場で運動をしていて急に倒れて心肺停止となった男性に、一緒に運動していた医療関係者が周りの人に119番通報と備え付けのAEDの搬送を依頼し胸骨圧迫を実施しAEDで除細動を行いました。男性は、救急隊が到着した時点で、意識、呼吸および脈拍が回復していました。



事例5

帰宅途上の道路で急に倒れて心肺停止となった女性に、その場を通りがかった人と近所の人が、119番通報と胸骨圧迫を実施して救急隊に引き継ぎました。女性は病院到着までに脈拍が回復しました。

